

数理学委員会分科会の設置について

分科会等名： IMU 分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	数理学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>IMU(国際数学連合)は1951年9月に発足し、1952年にはICSU(国際科学会議)のメンバーと認められた国際学術団体である。数学における国際協力を推進すること、4年に一度開かれるICM(国際数学者会議)を初めとする国際的な研究集会や会議を主催・後援をすること、純粋・応用数学、数学教育など数理学の発展のために国際的活動を援助することなどを目的としている。また、発展途上国の若手数学者を財政的に援助するなどの活動も行っている。</p> <p>2005年9月までは、日本学術会議数学研究連絡委員会が、その後は日本学術会議数理学委員会が、日本を代表して国内委員会の役割を担っていた。1990年には京都市においてアジアで初めてのICMを開催した。</p> <p>IMUは近年、事務局を充実させるなど、活動を活発化させつつある。これまでの、国内委員会の活動を継承しつつ、日本学術会議の理念に沿った国際対応を具体化するのが、本分科会設置の目的である。</p>
4	審議事項	<p>1. IMU と連携した国際的および国内的な数理学の振興、普及および社会貢献に関する事項</p> <p>2. IMU の予算や活動に対する日本としての意見の決定、IMU 総会へ派遣評議員の決定、IMU に関する役員等の推薦、フィールズ賞、ガウス賞などの各賞の受賞者の推薦、国際会議等への代表の派遣、国際会議等の日本での開催・招致に関する事項</p> <p>3. その他</p> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和2年12月24日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続